

鈴木文治 （ついでに） 労働運動家、政治家。明治十八年九月四日宮城縣生れ、  
 昭和二十一年二月十一日歿（八五―九四）。明治四十一年東京帝國大  
 學法科大學政治學科卒。秀英舎入社と程なく「東京朝日新聞」社會部  
 記者に轉じた。夙にキリスト教を信仰、大正元年友愛會を組織、澁澤  
 榮一、吉野作造等の支援を得て、労働者の修養、争議の調停に當る。  
 會員増大し、八年大日本労働同盟友愛會の、十年には日本労働總同  
 盟と改稱、昭和五年もこの會長を務めた。この間大正十五年安部磯雄、  
 吉野等と社會民衆黨を結成、中央執行委員となる。昭和三年衆議院議  
 員。戦後は日本社會黨結黨に参加。

著書「國際労働問題―附日本」(大正九年一月四日文學社)、各政黨  
代表者  
 「大演説集」(他七名合著・大阪毎日新聞社編、昭和二年二月十一日大  
 阪毎日新聞社・東京朝日新聞社「毎日叢書」)、労働運動二十年  
 (昭和六年五月二十八日一元社、復刻限定版・四十一年八月二十五日  
 総同盟五十年史刊行委員会)等。吉田千代著「評伝鈴木文治―民主的  
 労働関係の発展」(昭和六十二年四月十日日本経済評論社)がある。

